



子どもと保護者を支える 保育園・小規模保育園と 学童保育

社会福祉法人 美樹和会
顧問 塩谷 索





本日 お伝えしたいメッセージ

- ★ 基本的な制度や情報を知り、悔いのない保活を
- ★ ご家庭の子育て方針に合う園を探すのがベスト
- ★ お仕事と家庭生活との両立という視点を大切に
- ★ 園見学は重要。ご見学の際にチェックリストを



本日の流れ

1. 保育園、学童保育の種類と特徴
2. 子どもにとっての保育園の価値（保育内容・環境）
3. 保護者にとっての保育園の価値（子育て支援）
4. ご自身に合った保育園の選び方



1. 保育園・学童保育の種類と特徴

(1) 認可保育所/認定こども園

- 京都市から委託を受けて保育を実施
- 入園可否は京都市が決める
- 中～大規模の園が多い
※定員の全国平均は76.5人
- 歴史ある園が多い
- 競争率が高い傾向



写真：みぎわ保育園（164名定員、認定こども園）

1. 保育園・学童保育の種類と特徴

(2) 小規模事業保育所

- 京都市から委託を受けて保育を実施
- 入園可否は京都市が決める
- 0～2歳児が対象
- 新しい園が多い
- 認可保育所より入園が比較的容易な傾向
- 3歳児で再度保活が必要



写真：中京みぎわ保育ルーム（15名定員、認可小規模事業保育所）



小規模保育事業



事業主体 市町村、民間事業者等

保育実施場所等 保育者の居宅、その他の場所、施設

認可定員 6～19人

家庭的保育事業



事業主体 市町村、民間事業者等

保育実施場所等 保育者の居宅、その他の場所、施設

認可定員 1～5人

事業所内保育事業



事業主体 事業主等

保育実施場所等 事業所の従業員の子ども＋
地域の保育を必要とする子ども（地域枠）

居宅訪問型保育事業



事業主体 市町村、民間事業者等

保育実施場所等 保育を必要とする子どもの居宅

（出典元：地域型保育事業＜内閣府＞）



1. 保育園・学童保育の種類と特徴

(3) 企業主導型保育事業所

- 地方自治体ではなく国から補助を受けて保育を実施
- 入園可否は各園が決定
- 小～中規模の園が多い
- 新しい園が多い
- 保育経験の浅い一般企業が運営する園も
- 保育料が認可より安くなる場合も



写真：吉秀みぎわ保育園（12名定員、企業主導型保育所）



1. 保育園・学童保育の種類と特徴

(4) 認可外保育所

- 地方自治体や国の委託や補助を受けず、独自に運営
- 入園可否は各園が決定
- 小規模の園が多い
- 一般企業が運営するケースが多い
- 認可ではみられない独自の教育・支援を行う園も
- 保育料が高額になる場合も



写真：山科ロマンキッズ（12名定員、認可外保育所）
株式会社ロマンライフ運営

1. 保育園・学童保育の種類と特徴

(5) 学童保育について

- 放課後を過ごす児童の健全育成の場として機能
- 京都市の委託を受け保育を実施
- 利用登録は各館で行う
- 利用料は京都市が設定
- 小学校の放課後(14時台～18時半)の間に利用
- 小学校の長期休暇期間中は8時～18時半の間に利用



写真：朱雀みぎわ学童保育所（240名定員）



1. 保育園・学童保育の種類と特徴

(5) 学童保育について

- 放課後児童支援員という資格を持つ正職員（児童厚生員）とクラス主任、クラス担当と呼ばれる臨時職員が保育を実施（保育士資格は必須ではない）
- 児童館は午前中にも開館し、地域の子育て家庭への支援も行うが学童保育所は放課後の学童保育のみ
- 学童保育を行う児童館や学童保育所によって、保育方針はさまざま
 - ※ 大人が子どもの活動を管理するタイプと、子どもが自主的に活動するタイプとに分けられる。

→保育園が児童館や学童保育所を併設している場合、卒園後小学校に進学してからも、継続的な支援を受けられるメリットがある



2. 子どもにとっての保育園(保育内容・環境)

- 保育園は子どもにとって、人生ではじめて接する社会
家庭とともに、人生の最初期を過ごす場所として重要な意味を持つ
 - ※ 質の高い保育を提供する園を選ぶことの大切さ
- 保育園に預けられる子は「かわいそう」なのか？
伝統的に日本社会に根付いている「母性神話」や「3歳児神話」に
普遍性はなく、科学的根拠もない
 - ※ 時代に合わせて、子育ての在り方も、保育園の役割も変わる
- 子どもが保育園で過ごすことのメリットは多く、そして大きい
(0歳児であっても)

2. 子どもにとっての保育園(保育内容・環境)



(1) 乳児期 (0-2歳児)

- 愛着関係の形成がすべてのスタート
 - 「この世界にじぶんは受け容れられているという感覚」を感じられること
 - 親や保育士との愛着関係は、こどもの安全基地を生み出す
 - 安全基地があってこそ、その外に出てみようという子どもの意欲が湧き、探索活動につながる
- 「育児担当制」という乳児保育手法
 - 一人ひとりの子どもに担当保育士がつきその子の状態やペースに合わせながら丁寧にかかわっていく



2. 子どもにとっての保育園(保育内容・環境)



(1) 乳児期 (0-2歳児)

• 生活習慣の確立をフルサポートする

- 食事：離乳食・乳児食の提供を通じて、健やかな身体の成長を支える
- 排泄：排泄の自立を一人ひとりのペースに合わせて支える
- 睡眠：睡眠は成長の糧。安全を確保した環境で子どもの睡眠を見守る
- 衣服の着脱習慣：日々の園生活のなかで衣服の着脱を支援し、習慣化する



2. 子どもにとっての保育園(保育内容・環境)



(2) 幼児期 (3-5歳児)

- 集団のなかでの子どもたち同士のかかわりを通じて
「ひととかかわる力」を育てていく時期
→ 集団生活、集団活動のメリットを活かす
- 子どもの自主性、主体性を大切に
→ 「おとな時間」ではなく「こども時間」を
→ 園児が日々、「自分はどうしたい」と
意思決定できる機会を





2. 子どもにとっての保育園(保育内容・環境)

(2) 幼児期(3-5歳児)

- 異年齢保育という保育手法
 - 同年齢どうしだけでなく、異年齢どうしのかかわりで学ぶことがある
 - 年少のこどもにとって年長は身近なロールモデル
 - 年長のこどもにとって、年少のクラスメイトをサポートする経験が異年齢保育なら自然と生まれる

支え、支えられる経験を通じて
ひととかかわる力が育まれていく。





2. 子どもにとっての学童保育の価値

(3) 学童保育のキーワードは「自律」

- 学童は、家庭でもなく小学校でもない、子どもたちにとっての第三の場所（サードプレイス）として機能してこそ価値がある。
大人がつくったルールに従うのではなく、子どもたち自身でどのように過ごすかを考え、自分たちでそのためのルールをつくっていくという、いわば子どもによる自治をめざす。これを「**こども共和国**」と呼んでいる。
- 子どもたちがそれぞれ興味関心のあることを、仲間とともに楽しみながら取り組み、成長していく場であってほしい。
→現在、みぎわの学童では多彩なクラブを子どもたちが自主的に立ち上げ、毎日の放課後を充実した時間に行っている姿が見られる。



2. 子どもにとっての学童保育の価値



児童館

遊びクラブ



児童館

おやつクラブ



児童館

シアタークラブ



朱雀

計画係



朱雀

スイーツクラブ



朱雀

SHOKUBUTSUクラブ



児童館

料理部



児童館

誕生日カードクラブ



児童館

読み聞かせクラブ



朱雀

ダンスクラブ



朱雀

映画クラブ



朱雀

マッサージTOMO株式会社



児童館

本係



児童館

お掃除係



児童館

イベント係



朱雀

せいさくクラブ



朱雀

あそびクラブ



2. 子どもにとっての学童保育の価値

(3) 学童保育のキーワードは「自律」

・子どもたち自身がクラブを立ち上げて、好きな活動をするというだけではなく、自分たちの場所を自分たちで過ごしやすいようにしていくためには、子ども同士での話し合いやルールづくりが欠かせない。

・ときにはお互いの意見の相違も経験しながら、そうした対立を対話で乗り越えていく。そして、自分たちがほんとうに納得できるルールや環境を自らの手でつくりあげていく。

→そうした経験を通じて、「先生や親に言われたから何かをやる/やらないというのではなく、自分はこれをやるべきだと思うからやる、自分はこれはやるべきでないと考えるからやらないと判断できる力（自律心）」が養われていく。



みぎわ憲法

おもちゃ共和国 角谷、小笹、杉原、勝村

第一条, おもちゃについて

- 第一項 おもちゃをつかったら、しっかりもとのぼしよへかたづけること
- 第二項 じぶんたちがつかったおもちゃがおちていないかさいごまでたしかめ-ること
- 第三項 おもちゃをなげたりたいたりしないこと
- 第四項 おもちゃをこわしたりなくしたりしたら、しょうじきにせんせいにいうこと
- 第五項 まいしゅうきんようびはみんなでおもちゃをかたづけること(みんなでがんばればどんどんかたづけるじかんがへってあそぶじかんがふえるかも♪)

第二条, じどうかんでのすごしかたについて

- 第一項 はしらず(はやあるきもきんし)ほかのひとにめいわくにならないようにすごそう
- 第二項 かいだんではみぎがわつうこうをまもろう
- 第三項 かいだんでは、はしらず、たまらないようにすること
- 第四項 かんないではさけはしないこと

(※ひどくなったら、ペナルティを付けるかもしれないので気を付けよう)

がんばって
かたづけようね!





2. 子どもにとっての保育園(保育内容・環境)

(4) 園外活動(自然に触れる体験)

- 幼児期の子どもにとって
自然のなかで五感を刺激され
多様な実体験を積む経験は貴重
- 園庭や公園でも類似体験は可能
- 八瀬野外保育センターも利用可能
(ただし利用頻度は年1回程度)
- みぎわ独自の山の家をつくり
自然に触れる体験機会を増やす



2. 子どもにとっての保育園(保育内容・環境)



「炭山みぎわビレッジ」(みぎわの山の家) 京都府宇治市



2. 子どもにとっての保育園(保育内容・環境)



保護者は無料で日帰り利用、宿泊可能。自然体験をご家族に



2. 子どもにとっての保育園(保育内容・環境)



保護者は無料で日帰り利用、宿泊可能。自然体験をご家族に



2. 子どもにとっての保育園(保育内容・環境)



(5) 行事の意味と価値

- 実体験で子どもは育つ
(日常保育では得られない
体験をどれだけできるか)
- 日常保育との連続性があるか
- 子ども主体の行事かどうか





2. 子どもにとっての保育園(保育内容・環境)

(6) 子どもたちの育ちに欠かせない給食

- 園児の食体験が豊かなものになるよう
管理栄養士が毎月献立を作成
※ 栄養価計算を行い、一日に必要な栄養量の45%を確保
- 自園での調理が基本（外部委託の園もあり）
- 衛生面や食物アレルギー対策を万全に整えることが必須





2. 子どもにとっての保育園(保育内容・環境)

(6) 子どもたちの育ちに欠かせない給食

- どのように給食を提供するかも重要
一斉提供方式が保育園では一般的だが
ビュッフェ形式のメリットは大きい



- 好きなものを、好きなときに
好きなだけ、仲の良いともだちと楽しむ
- 給食の開始時間は柔軟に（午前中の活動を満足いくまで楽しむ）
- いつ食べるか、何を食べるか、誰と食べるかという、日々のちいさな意志決定を積み重ねることで、こどもの主体性が少しずつ育まれる
- 先生に配膳されたものは食べるのが苦痛でも、自分で試そうと決めたものなら、少量ずつでもやがて食べるようになる（ともだちからの好影響も）



2. 子どもにとっての保育園(保育内容・環境)



カラフルダイスサラダ

▶和え物 2021.06.22



鮭のみりん焼き

▶魚 2021.06.09



麻婆豆腐丼

▶丼 2021.06.05



松風焼き

▶肉 2022.07.14



アジの竜田揚げ

▶魚 2022.06.06



鶏豆腐丼

▶丼 2022.05.31



ほうれん草蒸しパン

▶おやつ 2021.05.26



鯖の生姜煮

▶魚 2021.04.27



スナップエンドウのマヨ和え

▶和え物 2021.04.22



大豆と南瓜のサラダ

▶和え物 2022.05.24



やきとり丼

▶丼 2022.04.14



南瓜とチーズのサラダ

▶和え物 2022.03.25



鬼まんじゅう

▶おやつ 2021.03.23



タンドリーチキン

▶肉 2021.03.23



卵の花

▶和え物 2021.03.04



あらめの酢の物

▶和え物 2022.03.18



豆苗ともやしの和え物

▶和え物 2022.03.10



鮭の青のりパン粉焼き

▶魚 2022.02.21



2. 子どもにとっての保育園(保育内容・環境)

給食をお迎えの際に販売する、保育園のなかの惣菜屋「みぎわDELI」
給食をより知っていただくために、保護者の夕食準備の負担軽減のために



2. 子どもにとっての保育園(保育内容・環境)



(7) 発達支援：心理士やリハビリ職の専門性を活かす

- 発達の特徴がある子どもには個別支援(合理的配慮)を行う
- 臨床心理士/公認心理師や作業療法士、言語聴覚士などのリハビリ職の知見を活用
→保育士との多職種連携で保育の質は向上する





行動観察



参与観察



コンサルテーション



支援会議



発達検査



発達相談



2. 子どもにとっての保育園(保育内容・環境)

(7) 発達支援：心理士やリハビリ職の専門性を活かす

- 支援が必要な子どもへの個別対応だけでなく、すべての子どもにとって参加が保障される「ユニバーサルデザイン保育」を目指す。

そもそも子どもが活動に参加できない要因は、大きく分けて次の3つ。

- 1) 活動への理解不足
- 2) 活動への安心不足
- 3) 活動への興味不足

→ これらの阻害要因を解消する、または促進要因を生み出す工夫を保育士と心理士・リハビリ職との多職種連携によって実現していく



2. 子どもにとっての保育園(保育内容・環境)

(8) 小規模保育所の大きなメリット

- 乳児期に丁寧なかかわりをしやすい
- 0~2歳児の異年齢のかかわりが生まれやすい
- 年度途中でも比較的入りやすい→連携する認可保育所があればなおよい





3. 保護者にとっての保育園(子育て支援)

(1) 子育て期間が充実した楽しい時間になるように

- 保護者が子どもとかかわる余裕(時間的、経済的、心理的)を確保できるように工夫するのが、保育園の社会的使命
- 保護者を園のルールに合わせるタイプの園と園が保護者に寄り添うタイプの園と
- 親は子育ての素人だから、親も教育対象だと考えるタイプの園と「親は子どものいちばんの専門家」と尊重しその伴走支援に徹するタイプの園と





3. 保護者にとっての保育園(子育て支援)

(2) 保育園が家庭の負担軽減のためにできることは、実はたくさんある

- お迎えの時間が遅くなっても遅延料金を課さない
- 日曜日、祝日、年末年始以外はすべて開所する（お盆なども開所）
- 土曜等、仕事がない日でもフルで利用できるようにする
- 登園時の持参物をなるべく減らし、朝の準備が楽になるようにする
- 使用済みおむつは園で廃棄し、補充は園で行う
- 布団やシーツを園で洗濯し、持ち帰りをなくす
- 遠足の日も、給食室でお弁当を用意する
- 給食費の負担は、原価相当に抑える





3. 保護者にとっての保育園(子育て支援)

(3) 育児に悩むのはあたりまえ。どうかひとりで悩まず相談を。園は味方。

- 家庭での子どもの姿と、園（集団）での姿
家庭と園との連携で、子どもへの理解が深まる
- さまざまな専門性をもつ職員による子育て支援
保育士、(管理)栄養士、看護師
＋臨床心理士・公認心理師、
作業療法士、言語聴覚士
社会福祉士 など





3. 保護者にとっての保育園(子育て支援)

(4) 保護者同士のつながりの場としての保育園

- 保護者会はあったほうがいいか
 - あってもいいが、保護者の負担感が少なく園と連携して有志で運営されているか（強制参加でないか）
 - 保護者会がなくても、自発的に同学年の保護者同士を中心につながっていくケースは多い
- ※ みぎわでは、保護者会を設置していない
- 行事への参加を通じて、保護者同士がつながるといいう機会もある





4. ご自身に合った保育園の選び方

(1) 多くの方が「距離・アクセス」を第一に選んでいる

長年通うことを考えると当然だが、アクセス面での利便性に基準が偏ると、本当にご自身と子どもに合う園を見過ごすリスクがある

(2) 「保育方針」、「園内環境」にも高い関心

- 保育方針について、綺麗ごとは誰にでも言える
要は、それが実践されているか
→園を実際に見学し、自らチェックすることが重要
※口コミサイトは質の低いものが多く、内容を鵜呑みにできない
- 園舎の見た目の美しさより、子どもの過ごす環境として適切な設定や、専門的配慮・工夫がなされているか



4. ご自身に合った保育園の選び方

(3) 利用調整（令和7年度実績。令和8年度は9月中旬に公表見込み）

- 「京都市 保育園 申し込み」でネット検索（9/12公表）
 - 京都市のHP「保育利用申込みの御案内」をダウンロード
 - お住まいの区の福祉事務所に電話・訪問相談してもOK
- 一次調整：申込期間：10/3-11/1（実質11/17まで）
- 一斉面接：なし
- 二次調整：2月中旬ごろ×切 → 2月末に結果通知（郵送）



4. ご自身に合った保育園の選び方

(3) 利用調整（つづき）

- 「基本指数＋調整指数＝合計点数」。この点数で競争する
- フルタイムで勤務されている方が得る40ポイントがひとつの基準
→これより少ないから保育園に入れないということはないが、
園の選択肢や入園の時期には制約が生じる可能性がある。
- 加算要件と減算要件があるので、それに注意
加算要件の例：家族の介護、自身の障害、通勤時間の長さ
減算要件の例：祖父母の協力を得られる、他園からの転園



4. ご自身に合った保育園の選び方

(3) 利用調整 (つづき)

- 連携する小規模保育事業所からの転園はプラス10ポイント
- きょうだい児が既にその園にいる場合、プラス15ポイント

(4) 来年度4月の受入枠の調べ方

- 「京都市 保育園 空き状況」でネット検索
- 人気園が類推できる
- 受入枠がそもそも少ない園の申込数は、人気園であっても当然少なくなる
- 小規模は第1希望になりにくい傾向あり



4. ご自身に合った保育園の選び方

(5) 年度途中の空き定員の調べ方

- 毎月、各園の空き定員情報が京都市のホームページで更新
- 具体的な人数ではなく「○、△、×」という表記
- 年度途中の入園を狙うなら毎月チェックする価値あり

(6) 企業主導型や認可外保育所の情報をどこで入手するか

- 「京都市 認可外保育施設」でネット検索。
そこに「認可外保育施設一覧」というデータがある
企業主導型保育事業所も含め、認可外の施設情報を調べられる



4. ご自身に合った保育園の選び方

(7) 点数（ポイント）が低くても、打つ手はある

- 0歳児での入園を検討する

1歳児、3歳児の競争率は毎年非常に高いが、0歳児の倍率は低い

→1歳までは自宅で子どもを見たいと考えるご家庭は非常に多い

他方で、0歳で入園するメリットもある

★ 早期に子育ての伴走者（保育のプロ）と繋がることができる

→まずは小規模園に入園し、3歳児から連携している認可保育所に
転園するというルートは、ひとつの有効な選択肢

★ 小規模園が連携する認可保育所に転園する場合、10点もつく

★ 連携施設が同じ法人の運営する園であれば、移行がスムーズ



4. ご自身に合った保育園の選び方

(8) 見学の大切さと、その際の「見るべき視点」

- ホームページや部分的な口コミだけでは
ご自身に合っているかどうかはわからない
 - 入園する園で、今後数年が決まる
 - 途中転園は保活でマイナス5点となり不利
 - そこで「保育園見学チェックリスト」を
みぎわのホームページにて掲載中
- ※私（塩谷）が「自分の子どもを預ける園を
探すなら、この点を見る」という視点で作成





追加のご質問やご見学
歓迎します

